

袋井市教育委員会 会議録（要旨）

会 議 名	平成28年 5 月 袋井市教育委員会 定例会
招集日時	平成28年 5 月25日（水）午後 1 時30分
会議時間	午後 1 時30分から午後 3 時46分まで（2 時間16分）
場 所	袋井市役所302会議室
出 席 者	前嶋康枝 委員長 上原富夫 委員 伊藤静夫 委員 豊田君子 委員 （計：4人）
欠 席 者	無し
傍 聴 者	無し
当局出席者	鈴木典夫 教育長 大河原幸夫 教育部長 早川俊之 教育企画課長 大場義孝 おいしい給食課長 加藤貞美 学校教育課長 久野芳久 生涯学習課長 乗松里好 すこやか子ども課長 鴻野元希 育ちの森所長 山本義孝 袋井図書館長 寺田志郎 浅羽図書館長 大庭尚文 教育企画課総務企画係統括係長 （合計：11人）
会議に付した 事件	別紙「平成28年 5 月 袋井市教育委員会定例会 議事日程」の とおり

平成28年 5 月 袋井市教育委員会定例会 日程

日時：平成28年 5 月25日（水）午後 1 時30分開会

場所：袋井市役所 3 0 2 会議室

会 議 日 程

日程第 1 開 会

日程第 2 会議録署名委員の指名

日程第 3 教育長報告

日程第 4 教育部月例事業報告

日程第 5 議 事（会議に付すべき事件）

（1）議決事項

議第 22 号 袋井市小中一貫教育検討委員会設置要綱の制定について

（2）協議事項

協第 33 号 小中一貫教育検討委員会委員の委嘱又は任命について

協第 34 号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について

協第 35 号 袋井市英語教育推進プロジェクト委員会の設置について

（3）報告事項

報第 47 号 平成28年度当初の要保護及び準要保護児童生徒の認定数について

報第 48 号 平成28年度保育所入所待機児童数について

報第 49 号 指定学区外就学及び区域外就学の許可について

報第 50 号 平成28年度袋井市教育委員会学校巡回訪問について

報第 51 号 袋井市いじめ防止対策推進条例の制定について

報第 52 号 平成28年度袋井市ワンコイン・スクールプロジェクトについて

報第 53 号 教育振興費寄附金「袋井北小学校指定寄附金」の受納について

報第 54 号 中学生未来会議について

報第 55 号 広島平和祈念式典について

報第 56 号 英語集中講座「イングリッシュ・デイキャンプ」について

報第 57 号 「英語検定」受験支援事業について

報第 58 号 ふくろい市民映画について

報第 59 号 袋井市立図書館協議会委員の委嘱又は任命について

報第 60 号 袋井市学力向上プロジェクト委員会設置要綱の制定について

日程第6 その他

(1)連絡事項

- ア 袋井市学校給食調理・配送等業務受託者選定結果について
- イ 歴史文化館特別展「袋井の水墨画」の開催について
- ウ 袋井市立図書館だより「ふくぶっく」平成28年6月号

(2)次回定例会等の予定について

6月教育委員会定例会 6月24日（金）午後1時30分～

（浅羽支所1階 第一会議室）

(3)その他

日程第7 閉会

平成 28 年 5 月 袋井市教育委員会定例会 会議録（要旨）

1 開会

●教育委員長

それでは、ただ今から、平成 28 年 5 月袋井市教育委員会定例会を開会させていただきます。

2 会議録署名委員の指名

●前嶋委員長

徒前の袋井市教育委員会会議規則第 17 条第 2 項の規定に基づき、上原富夫委員及び伊藤静夫委員を指名します。

3 教育長の報告

●主な報告事項

- ・第 1 回社会教育委員会（5 月 24 日）
- その他は資料のとおり

4 教育部月例事業報告

●教育企画課

- ・徳育推進協働事業
- ありがとうキャラバン 浅羽南小学校（5 月 18 日）
- ありがとうキャラバン 豊沢ふれあい会館（5 月 22 日）

●おいしい給食課

- ・第 2 回学校給食調理・配送業務受託者選定委員会（4 月 28 日）
- ・第 1 回袋井市食物アレルギー対応委員会（4 月 28 日）

●すこやか子ども課

- ・こどもみらいプロジェクト in エコパ（5 月 7 日、8 日）
- ・中央子育て支援センター開館 10 周年記念式典

●学校教育課

- ・第 1 回学力向上プロジェクト会議（4 月 18 日）
- ・地域支援会議（5 月 6 日）
- ・M I M研修会（5 月 12 日）
- ・魅力ある学校づくり小中連絡会 中学校区ごと

●生涯学習課

- ・第 1 回ふくろい市民映画製作実行委員会（4 月 28 日）

- ・第1回社会教育委員会（5月24日）

5 議事

【議決事項】

（1）議第22号 袋井市小中一貫教育検討委員会設置要綱の制定について

●教育企画課長

小中一貫教育について昨年度庁内検討をし、一定の成果が期待できる旨を報告しました。本委員会は、その結果を踏まえ、外部有識者により小中一貫教育の導入と基本方針の策定をするために設置するものです。

なお、委員の任期は1年。人数は10名以内とします。

[質疑・意見]

なし

●前嶋委員長

本案は、原案のとおり承認することにいたします。

【協議事項】

（1）協第33号 袋井市小中一貫教育検討委員会委員の委嘱又は任命について

●教育企画課長

委員名簿案のとおり委嘱又は任命したい。

[質疑・意見]

●豊田委員

地域性は関係ないか。たまたまかもしれないが、小中学校の代表は、山名小学校と袋井中学校の校長であり、大場委員は宇刈地区の方である。浅羽地域の委員を入れるなど地域性への配慮は必要ないか。

●教育企画課長

今回の検討は、市全体のあり方を検討するものであり、中学校区個別ではなく全体の見地から意見をいただきたいと考えている。

また、小学校、中学校の代表については、毎年、市内の小学校、中学校の校長先生の中から代表が決まっている。

なお、今後、中学校区別の検討の際は、地域の方にも入っていただく予定であり、今回の検討については地域性の考慮はしていない。

●伊藤委員

先日の貝ノ瀬先生の話には共感した。この議論を進めるためには、問題や課題を提案してくれる人であるかどうか。委員長、副委員長が課題を吸い上げてくれる人であるか。この二つが満たされているかどうかである。

また、委員会のあり方として、この地域は、この学校はこうしていくなどの方策は別として、あくまで「小中一貫教育の目的は何か」に絞って議論していただきたい。委員には、問題提起、問題の吸い上げを十分をお願いしたいと思っている。

●教育企画課長

有識者のうち2名の大学の先生は、昨年度から学力向上推進委員会や魅力ある学校づくりに関わっていただいております、袋井市の教育に精通している。

他の委員についても全体的な視野の中で発言していただける方として選ばせていただいた。

なお、伊藤委員から紹介のあった貝ノ瀬氏については、この委員会にアドバイザーとして参画いただく。

●伊藤委員

人選について意見はない。ただし、委員会のあり方や目的をはっきりして臨んでほしい。

●鈴木教育長

今の意見は大事なことである。黙って事務局案を眺めているだけでは意味がない。はっきりものを言える方を選んでくれたと思う。

●前嶋委員長

この検討会は、学校だけでなく、市民、地域の人、保護者などにこの必要性が理解できるように、また、学校側だけで進めているのではなく市民レベルで検討する。このような考えでよいか。

●教育企画課長

そのとおりである。学校や行政の内部だけの検討では、考えが偏ってしまう恐れがある。このため、トータル的な、様々な視点から見ていただいて意見をいただくことで、まとめてくこととし、このようなメンバーを選任した。

●前島委員長

本案は、原案のとおり承認することとする。

(2) 協第 34 号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について

●教育企画課長

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、平成 21 年度から毎年、前年度に実施した事務事業の点検及び評価を行っている。

今後、7月の民生文教委員会に報告し、市のホームページで公開する。

[質疑・意見]

●伊藤委員

図書館の目標値が下がっているが、目標が高かったということか。

平成 28 年度の目標値を下げるということか。

●山本袋井図書館長

平成 21 年度に策定した総合計画の取組指標の数値を採用している。当時は中央図書館構想などがあり高い目標となっていた。平成 28 年度は実態に合わせて 56 万人とする。

●上原委員

712,000 冊に対して 53 万冊では乖離がある。貸し出した本の数といっても様々な種類があるが、この数はトータルの数字か。

●山本袋井図書館長

トータルである。

●上原委員

単に実績に合わせて目標値を下げるのではなく、カテゴリー別に状況を確認し、設定することもできる。その結果によって、働きかけ、対策案を考えるのが望ましいと思う。

●山本袋井図書館長

貸し出しの状況を分析したところ、一般書は減、年代別に見ると 20 年代の利用者がスマホの影響もあり極端に減少している。

全体を唯一カバーしているのが児童書である。児童書は一人で借りに来ないことから、親子で借りる方や、親子で読み聞かせされている方が増えていると見ている。

また、60 歳以上については、利用者数は増えているが、貸し出し冊数は減っている。以前は貸し出し冊数の上限まで借りていった方もいたが、2 週間で読める冊数は 2～3 冊であることから、実際に読める冊数に数が減っている。

このようなことから、一般の利用は下降気味であり、唯一の増は児童書だけである。

ここ 5 年間見ても利用者の様子は多様化、複雑化しているため、どこに絞って働きかけをしたらよいかは難しい状況にある。どの数字をとるかについては、思案していると

ころである。

●伊藤委員

70万冊は論外として、公共図書館の役割は何か。借りに来た人のニーズに応えるコンシェルジュがいることではないか。貸し出し冊数ではなく、質の高い図書館を目指すべきである。

●上原委員

指標をトータルの貸し出し冊数とするのが大間違いである。

●伊藤委員

サービス度など他の指標で見るべきだろう。

●山本袋井図書館長

他の館も指標の設定については考えあぐねているところである。

●伊藤委員

新刊を図書館が用意すると、書店への影響はないのか。

●山本袋井図書館長

新刊が用意できるのは、どんなに早くても2週間後であり、2冊までとされている。利用者からの寄付もあるが、蔵書の数と時期は限られており、出版社等がダメージを受けることはない。情報を早くほしいという人は対価を払う仕組みとなっており、図書館は無料サービスであるためスピードの面では劣る。

●上原委員

今後の方向としてコンシェルジュ機能を高めていくという方向もある。子供は多いことから、島田市立図書館などが導入している「読書通帳」のしくみを導入するのはどうか。親も、職員も、その子がどのような本を借りているのか見ることができる。

●山本袋井図書館長

読書通帳のシステムを入れるのに、1000万円の費用が必要であり、導入するのであれば新しい図書館に合わせてシステムを整備するのが効果的である。

●鈴木教育長

2月議会でも議論した。読書通帳は、銀行ATMのような専用端末に通帳を通すと、自分が読んだ本のタイトルなどが通帳に記載されるものである。システムを導入するにあたり、蔵書データをシステムに登録する必要があるなど相当の費用が掛かる。現在、図書館や学校では、読書記録カードに手書きすることで対応している。また、幼稚園では推薦本を読むとシールがもらえる取組をしている。このような方法で読んだ本の記録を残している。

なお、評価指標については、局議でも議論したが、頑張りが見えるように工夫をしていきたい。

●教育委員長

P22 の子ども子育てトータルサポート事業のように、指標を「満足した割合」とするとわかりやすい。

目標値の立て方は、難しいがやりがいがある。施設がこれほど多くの方に利用されているのかと感ずることができる面もある。

●教育委員長

本案は、原案のとおり承認することにいたします。

(3) 協第 35 号 袋井市英語教育推進プロジェクト委員会の設置について

●学校教育課長

グローバル人材の育成についての検討を昨年度行い、ラグビーワールドカップが開催される 4 年先を見通した子ども達の英語力の向上や、新しい学習指導要領に基づく小学校の英語活動・教科化などに、どのように対応するかについて話し合ってきました。

これらの準備を具体的に進めるため、委員会を設置するものです。

[質疑・意見]

●伊藤委員

どのような英語教育をしていくのか。

●学校教育課長

ワールドカップを機に市民の英語力を高めること、また、グローバル人材を育成すること大事であると考えている。よって、コミュニケーション力や、異文化理解力を高めることを最終目的として、英語をひとつの媒体として取り組んで行けたらと考えている。

小学校低学年から英語や外国語に親しむ機会を次第に増やしていくこととし、そのための活動を進めてきている。取組の内容や進捗状況を確認する作業をこの委員会をおして行うことを予定している。

新学習指導要領の先行実施に乗れるよう、平成 28、29 年で準備していく。

●教育委員長

様々な委員会、取組があるが、全体の体系が整理されるとわかりやすい。

先生たちにも理解されやすいのではないか。

●教育長

学校教育課の進める事業とは別に、市役所に 2 人の外国人が赴任する。この人材を如何に活用するか。学校にどのように関わってくれるか。今後、市民協働課においては民泊ができる家庭を増やすための市民の英語講座などが予定されているが、こういったところにも小中学生の参加は可能であると考えている。

このように、英語力向上について、学校教育とは別に市民全体的な英語力向上の取組もある。

プロジェクト委員会の活動範囲は、まずは、学校教育に係る部分になるだろう。

●上原委員

一般の方は、英語を話す必要もないのになぜならうのかピンとこない。外国人職員には市役所の中に居るのではなく、外に出て市民と接してほしい。

●教育部長

子ども達が英語を学ぶためには、大人が子どもに手本を示す必要がある。ワールドカップを機に取組を進めるが、その後も続くような、グローバル人材育成の取組としていきたい。これを市民ぐるみで行いたいというのが市長部局の考えである。

外国人職員については、地域から呼ばれば出ていくこととしている。ただし、塾経営などを圧迫しないよう調整は必要である。

●教育長

英語を使う機会としては、平成 30 年度には全国学力調査に英語が入ってくる。聞く、喋るが面接でテストされる。子どもにとっては現実的な話である。

こうした動機付けとしてワールドカップはいい機会ととらえている。

●前嶋委員長

本案は、原案のとおり承認することにいたします。

【報告事項】

(1) 報第 47 号 平成 28 年度当初の要保護及び準要保護児童生徒の認定数について

●教育企画課長

昨年度から若干増の 419 人となったが、全国平均と比べて少ない状況にある。なお、認定は、申請主義であるため制度の周知には努めているところである。

[質疑・意見]

なし

●教育委員長

本案は、原案のとおり承認することにいたします。

(2) 報第 48 号 平成 28 年度保育所入所待機児童数について

●すこやか子ども課長

先週末の新聞発表のとおり、袋井市の待機児童数は 25 人。昨年度 30 人に対して 5 人減ではあるが、待機児童が発生している。保所入所申込者数をみると、前年対比で 100 人程度増えており、保育園を造って定員を増やしても希望が上回るという状況にある。

来年度については明和月見保育園や民間の小規模保育施設 3 園の新設により、140 人程度の定員拡大を図ることで待機児童ゼロを目指していく。

[質疑・意見]

なし

●前嶋委員長

本案は、原案のとおり承認することにいたします。

(3) 報第 49 号 指定学区外就学及び区域外就学の許可について

●学校教育課長

資料のとおり平成 27 年度の状況について報告します。

[質疑・意見]

なし

●前嶋委員長

本案は、原案のとおり承認することにいたします。

(4) 報第 50 号 平成 28 年度袋井市教育委員会学校巡回訪問について

●学校教育課長

学校訪問と巡回訪問を資料のとおり実施することしたい。

[質疑・意見]

なし

●前嶋委員長

本案は、原案のとおり承認することにいたします。

(5) 報第 51 号 袋井市いじめ防止対策推進条例の制定について

●学校教育課長

庁内の例規審査を経て、今回提示の内容で6月の市議会に上程することとしたい。

前回提示から微修正はあるが、趣旨等については変更なし。

議会での審議を経て公布された後、9月以降に委員会を立ち上げ組織化を図っていき
たいと考えている。

[質疑・意見]

●伊藤委員

いじめ問題対策連絡協議会など3つの委員会がある。一本化できないか。

●学校教育課長

法に基づいて3つの委員会を設置するが、それぞれの役割を持っている。連絡協議会

は、警察、児童相談所、学校が情報共有すること。専門委員会は、いじめの問題について具体的な調査をし、対応策を考えること。再調査委員会は、教育委員会の対応が不十分であると市長が判断したときに設置されるもので、第三者の目で再調査を行う機関である。

●上原委員

第4条第2項で「認識したとき、又はいじめに関する相談を受けたときは・・・相談するよう努める」とある。「認識したとき」とは、どのようなときか。いじめの兆候が見えたときなど軽微な状況に対してはどのように対応するのか。認識のしかた、網に掛ける方策について、もっと緻密な仕組みが必要ではないか。

●教育長

条例とは別に、学校には二重、三重のマニュアルがあり、具体的な方策は備わっている。第三者委員会を設置するなど、体制をより充実させるための条例である。

●学校教育課長

学校では、いじめ防止の基本方針やマニュアルをつくるとともに、二ヶ月に一度子ども達にアンケートを行い、ちょっとしたことでも吸い上げることができるような対応をしている。また、子ども達や保護者から訴えがあった場合に、速やかに組織として動けるような体制ができている。

●上原委員

アンケートは、教員に対しても行うのか。

●学校教育課長

教員に対しては行っていない。子どもや保護者からあがってきたものを教員が受け付けて学校全体で把握していくというしくみである。

●上原委員

教員も信用されているとは限らない。いじめの中には、教員の指導力不足によるものもあるのではないか。

●学校教育課長

アンケートとは別に、年1回体罰などの調査を行い、教員の動向についてはチェックがかかるようになっている。

●教育長

本市で行っているQUは、隠れたいじめ調査でもある。調べることは頻繁にやっている。けんかなど疑わしきものも含め認知するよう努めている。

●学校教育課長

教職員に対する意見については、県教育委員会の倫理110番などの通報システムがある。こうした手法についても、年度当初に保護者あてに案内している。

●教育委員長

本案は、原案のとおり承認することにいたします。

(6) 報第52号 平成28年度袋井市ワンコイン・スクールプロジェクトについて

●学校教育課長

レロイ小学校副校長、教員等をお招し、袋井の教育を見ていただく機会を設けることとなった。この事業に係る費用の一部(渡航費)に、市民からいただいた寄附を原資とする基金を使わせていただく。

日程、内容は資料のとおりである。

[質疑・意見]

なし

●前嶋委員長

本案は、原案のとおり承認することにいたします。

(7) 報第 53 号 教育振興費寄附金「袋井北小学校指定寄附金」の受納について

●学校教育課長

袋井北地区にお住まいの方から生前の意向に基づき、寄附されたもの。6月補正予算に計上し、袋井北小学校の図書の充実などに活用させていただく。

[質疑・意見]

なし

●前嶋委員長

本案は、原案のとおり承認することにいたします。

(8) 報第 54 号 中学生未来会議について

●学校教育課長

子ども達が地域や社会に目を向け、主体的に考え、発表する場としてとらえている。市内中学校4校ごとに実施し、会議のテーマは各校で決める。

[質疑・意見]

なし

●前嶋委員長

本案は、原案のとおり承認することにいたします。

(9) 報第 55 号 広島平和祈念式典について

●学校教育課長

昨年は、市制施行 10 周年の記念事業として実施し、これを皮切りに継続して実施するとされた。今年は第 2 回目となる。

教育委員の皆様からは小学生の参加も検討するよう意見をいただいていたが、昨年度の引率者の意見を参考に、参加にあたっての危険性や事業参加後の取組などを考慮し、今年度も中学生を対象とすることとした。

今年は、教育部長が団長として参加する。

[質疑・意見]

なし

●前嶋委員長

本案は、原案のとおり承認することにいたします。

(10) 報第 56 号 英語集中講座「イングリッシュ・デイキャンプ」について

●学校教育課長

子ども達の英語力の向上のための集中講座を開催する。小学校の外国語活動で培った力を使い、楽しさを実感し、意欲につなげていく。

運営は、ALT（外国語児童助手）が行う。

[質疑・意見]

なし

●前嶋委員長

本案は、原案のとおり承認することにいたします。

(11) 報第 57 号 「英語検定」受験支援事業について

●学校教育課長

子ども達が英語学習に意欲的に取り組むこと。次のレベルに挑戦する向上心を養うことを目的としている。

今年は初めての試みのため、1月の受験のみ対象とし、支援事業の仕組みを作り上げることとしたい。

[質疑・意見]

●上原委員

今年度の実績を踏まえ、次年度はファミリーでの受験についても検討してほしい。大人も対象に加えれば家庭や近所でも話題になり、盛り上がりの相乗効果があると思う。

●学校教育課長

京都市は漢字検定を親子三代で受験することを推奨している。今後、検討する。

●前嶋委員長

本案は、原案のとおり承認することにいたします。

(12) 報第 58 号 ふくろい市民映画について

●生涯学習課長

現在、子ども達が製作する映画の題材となる「袋井自慢のタネ」を募集しており、140件の応募があった。

同時にボランティアスタッフも募集している。

[質疑・意見]

- 伊藤委員
ぜひ、ボランティアに応募いただきたい。また、声掛けをお願いしたい。
- 前嶋委員長
本案は、原案のとおり承認することにいたします。

(13) 報第 59 号 袋井市立図書館協議会委員の委嘱又は任命について

- 袋井図書館長
欠員が生じたため、新たに委嘱するもの。

[質疑・意見]

なし

- 前嶋委員長
本案は、原案のとおり承認することにいたします。

(14) 報第 60 号 袋井市学力向上プロジェクト委員会設置要綱の制定について

- 学校教育課長
これまでは学力・学習状況調査の活用委員会を設けていたが、さらに踏み込んだ提案ができるようプロジェクト委員会を設けるものです。具体的には家庭学習や放課後学習をどうしていくかなどについて方向付けをするための提案をしていただくことを想定している。

[質疑・意見]

なし

- 前嶋委員長
本案は、原案のとおり承認することにいたします。

6 その他

各課から配付資料に基づき報告があった。

- おいしい給食課長
袋井市学校給食調理・配送等業務受託者選定結果について
- 生涯学習課長
歴史文化館特別展「袋井の水墨画」の開催について

●袋井図書館長

袋井市立図書館だより「ふくぶっく」平成28年6月号

7 閉会

(午後2時33分閉会)